

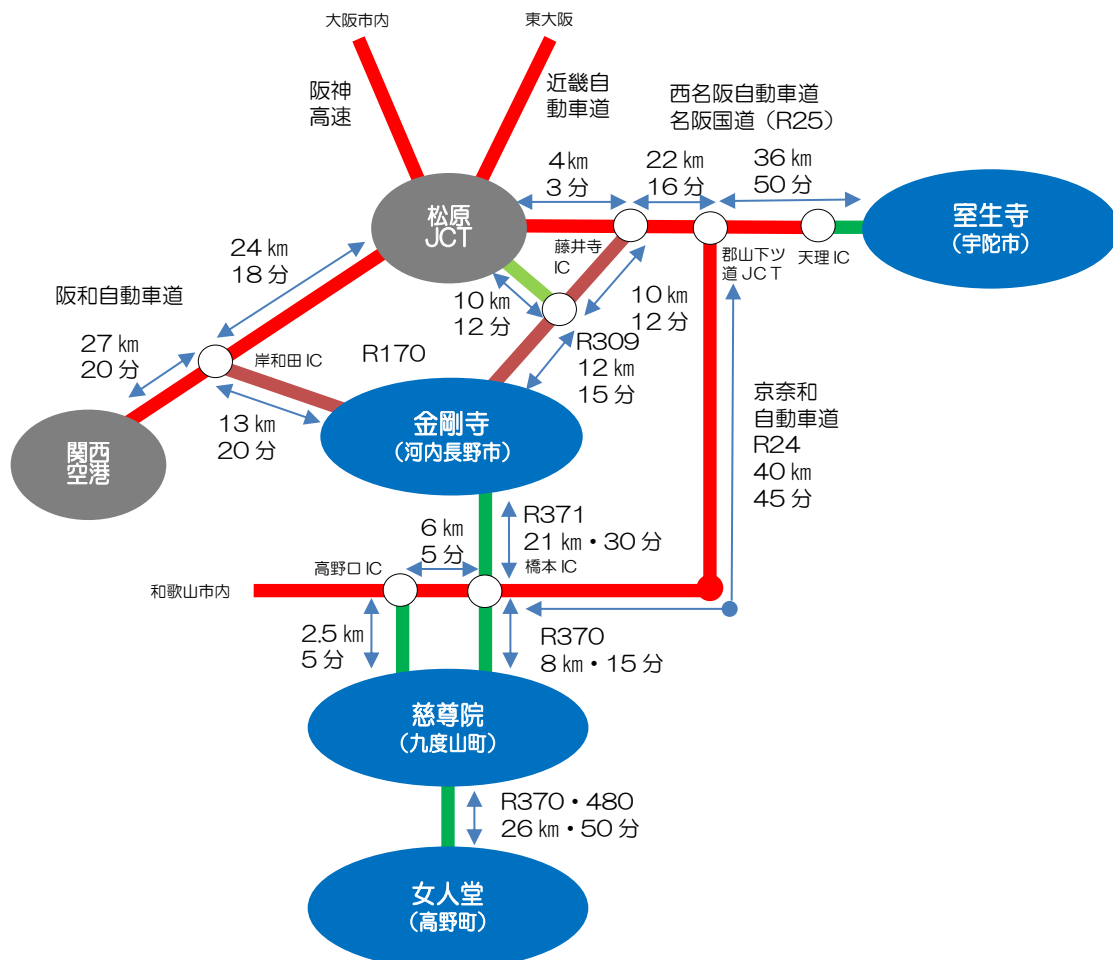
① 申請者	◎大阪府（河内長野市） 奈良県（宇陀市）和歌山 県（九度山町、高野町）	② タイプ	地域型 / シリアル型 A B C D E
③ タイトル			
(ふりがな)	じょせいとともにいまにいきづくによにんこうや ときをこえ、ときにあわせてみまもりつづけるいやしのせ いち		
女性とともに今に息づく女人高野～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～			
④ ストーリーの概要（200字程度）			
<p>高野山は、近代まで「女人結界」が定められ、境内での女性たちの参拝は叶わなかった。そんな時代にあっても女性たちの、身内の冥福を祈る声、明日の安らぎを願う声を聴いていた、「女人高野」と呼ばれるお寺があった。</p> <p>優美な曲線を描くお堂の屋根、静かに願いを聴いている柔和なお顔の仏像、四季の移ろいを映す周囲の樹々、これらが調和した空間を『名所図会』は見事に実写し、表現した。そこに描かれた「女人高野」は時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づき、訪れる女性たちを癒し続けている。</p>			
			
名所図会が描く不動坂口女人堂と女人結界	現在の不動坂口女人堂前	4寺院連携の幟	

### 市町村の位置図 (地図等)

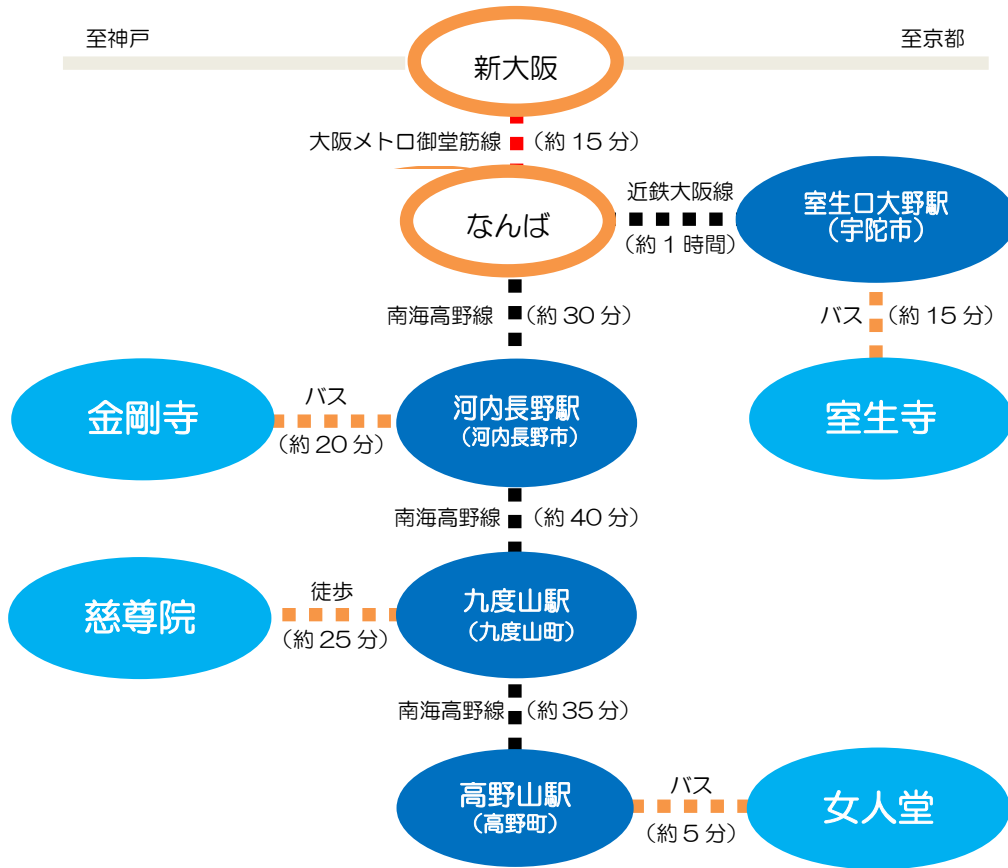


### 各女人高野へのアクセス (道路)

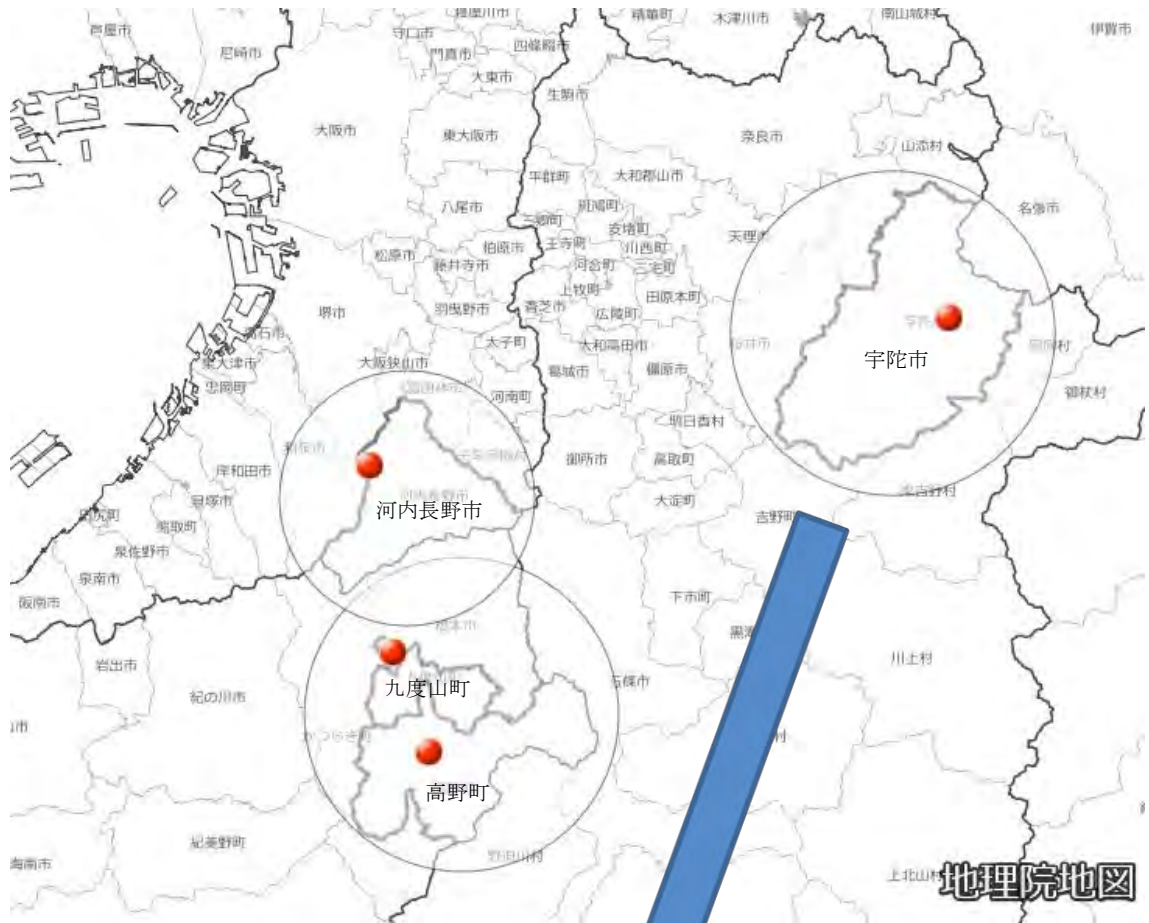
※距離・時間は目安です。



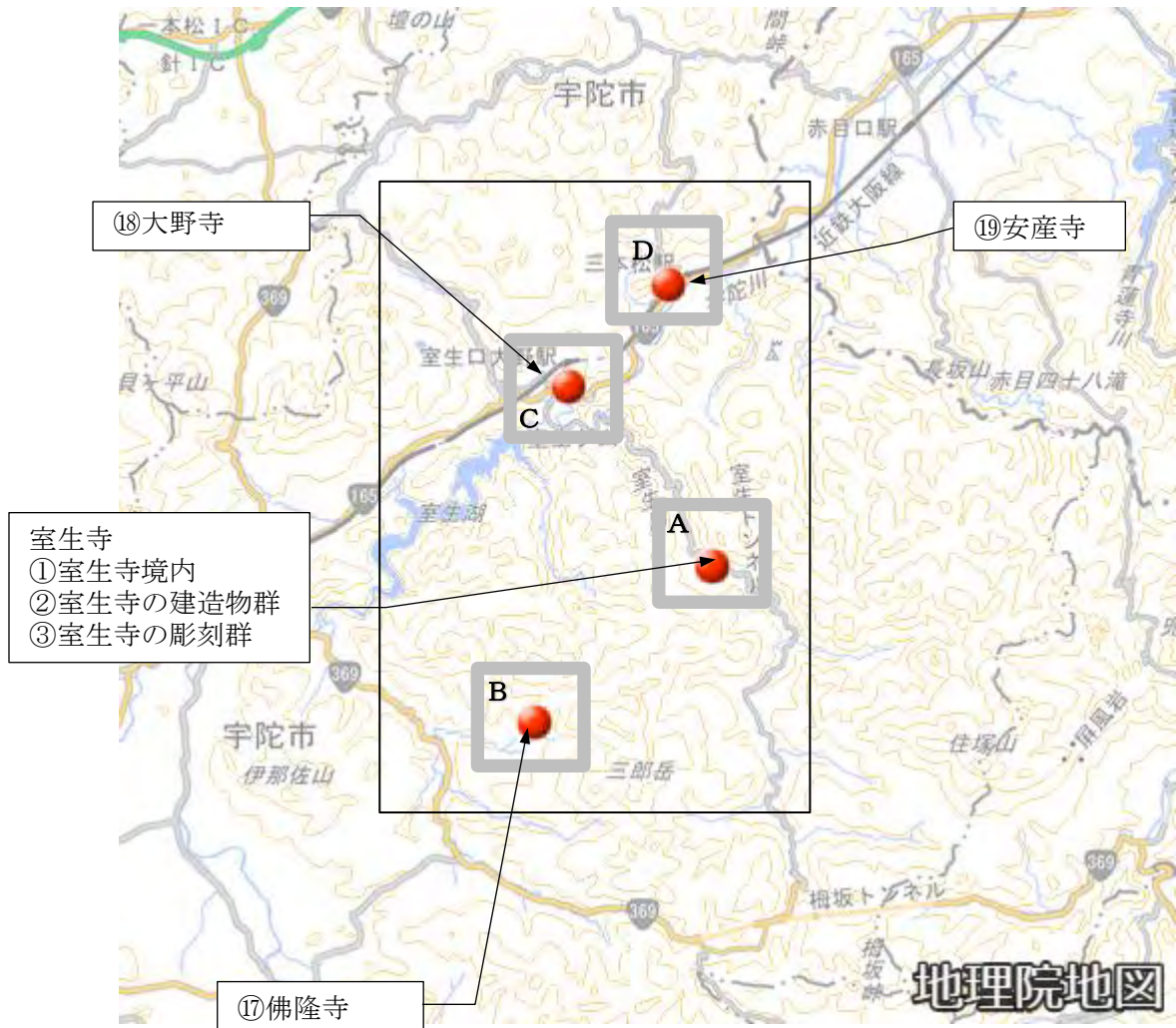
### 各女人高野へのアクセス (鉄道)



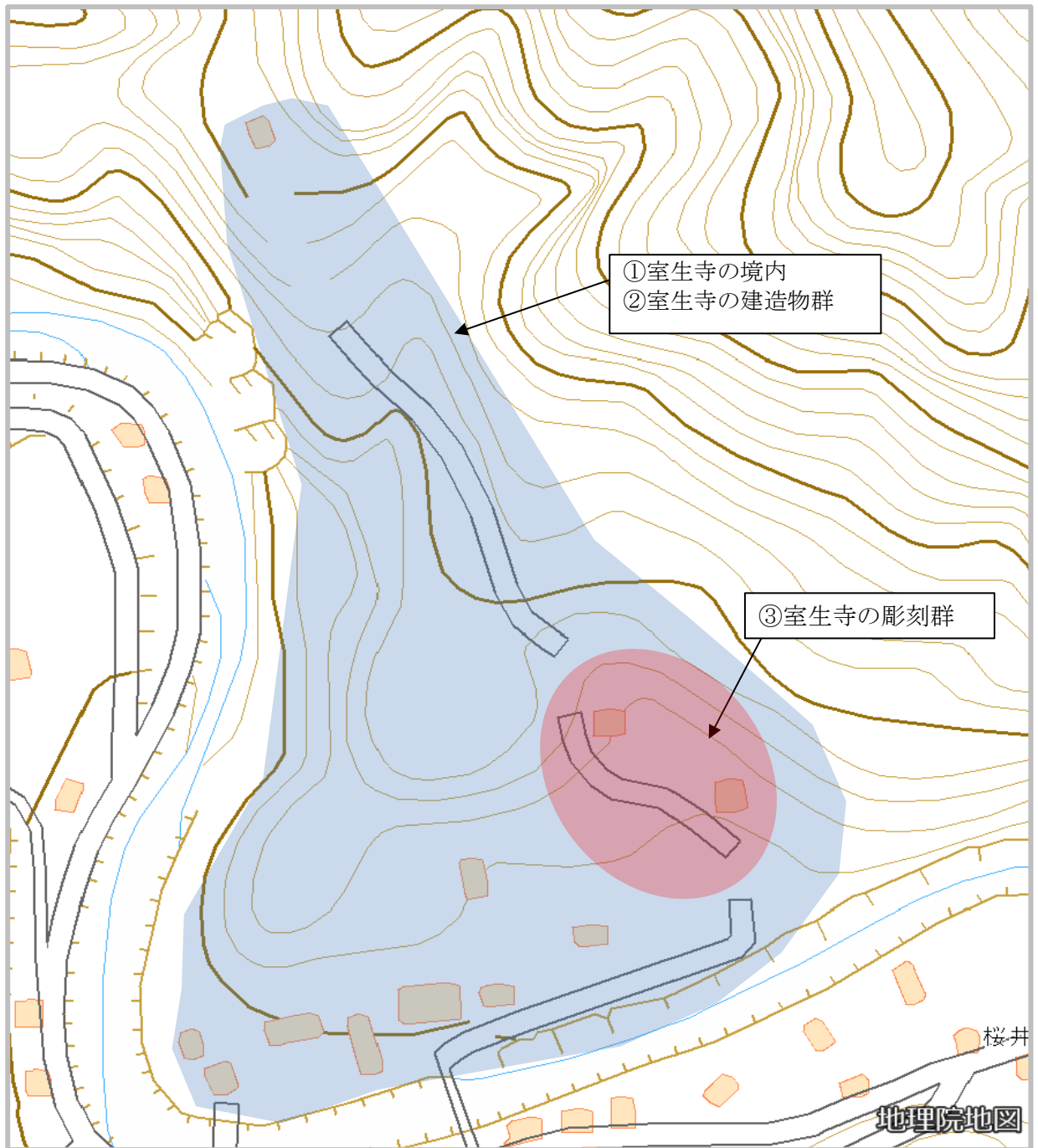
市町村の位置図(宇陀市)



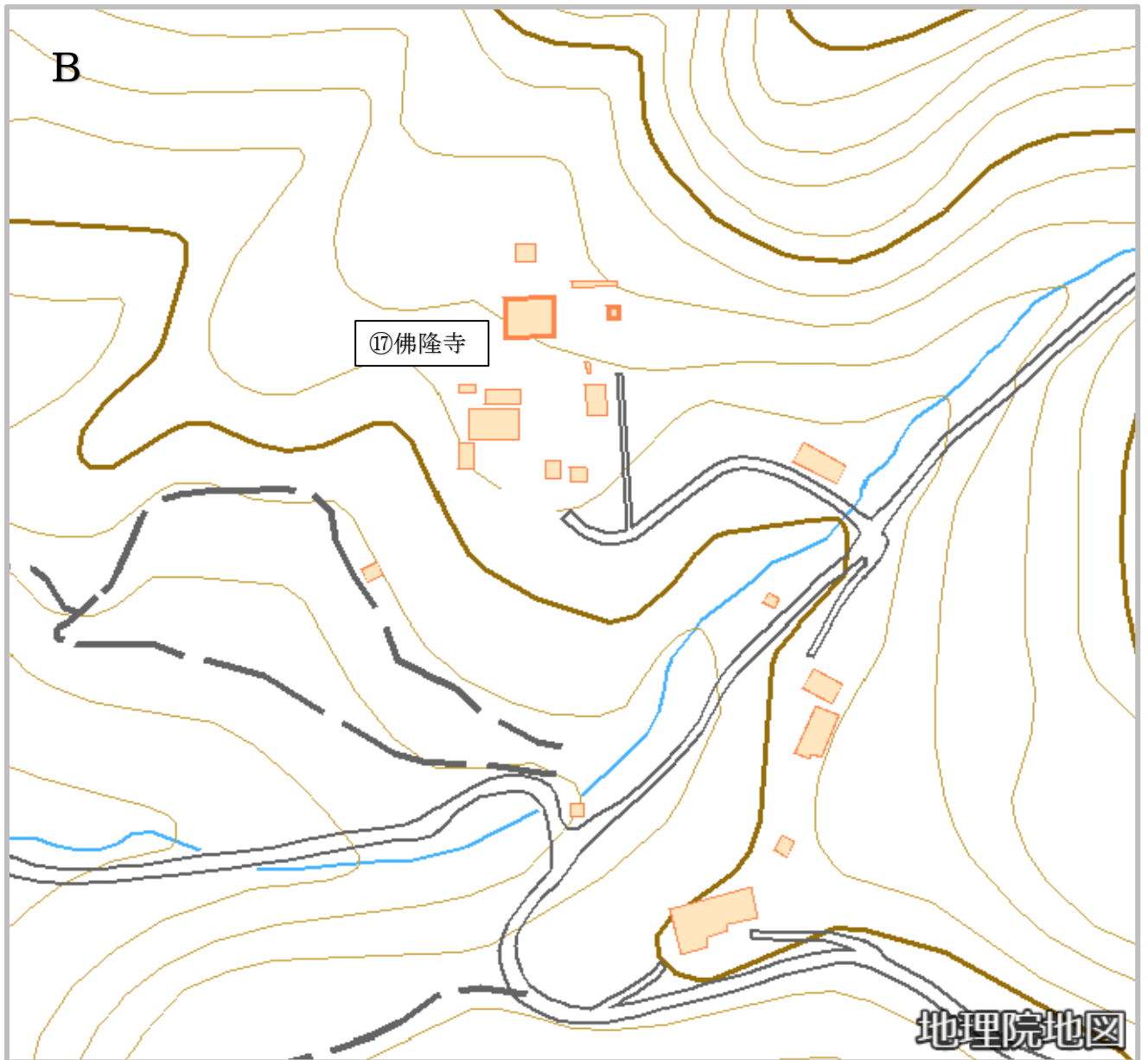
構成文化財の位置図（地図等）①



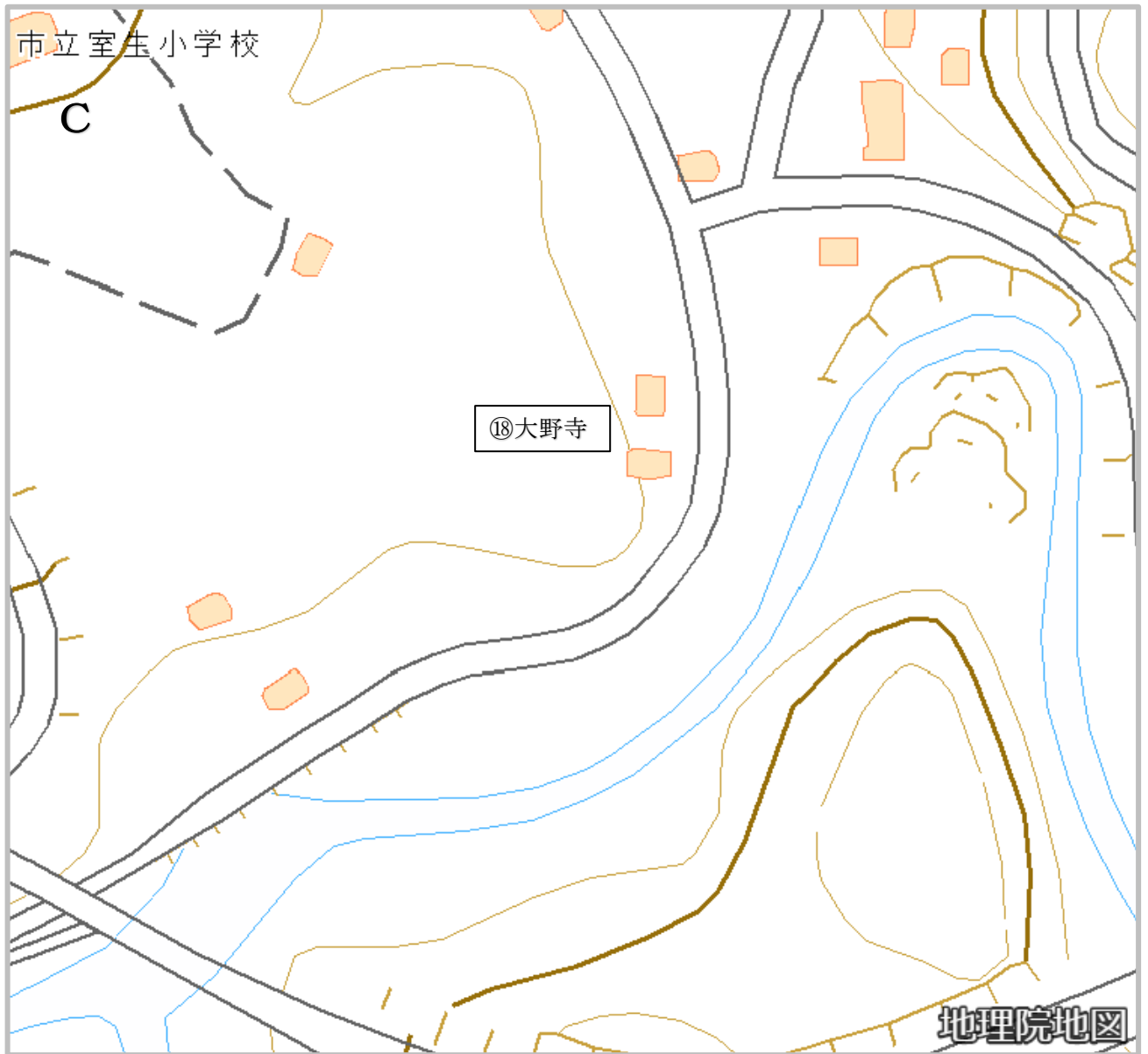
室生寺



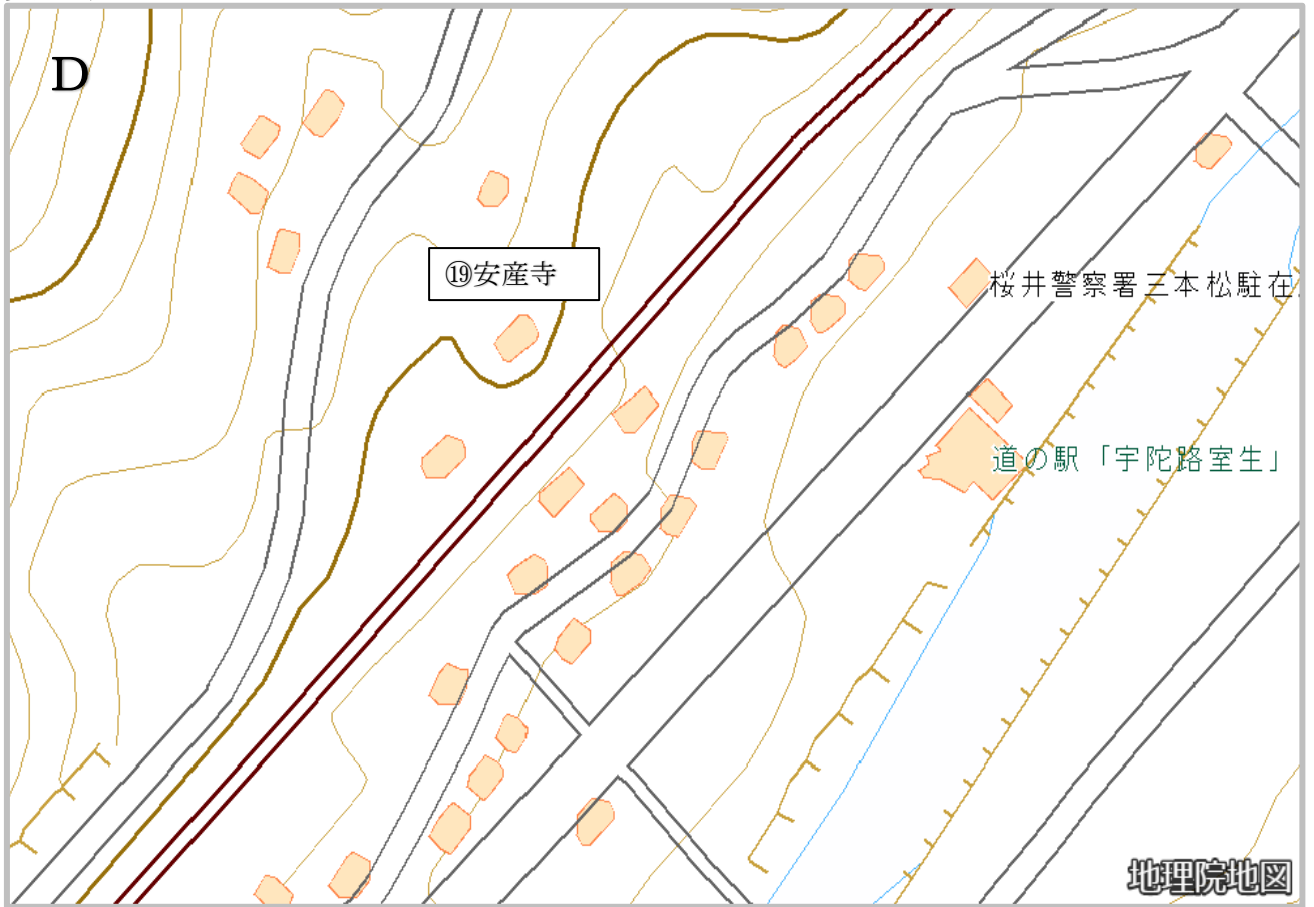
佛隆寺周辺



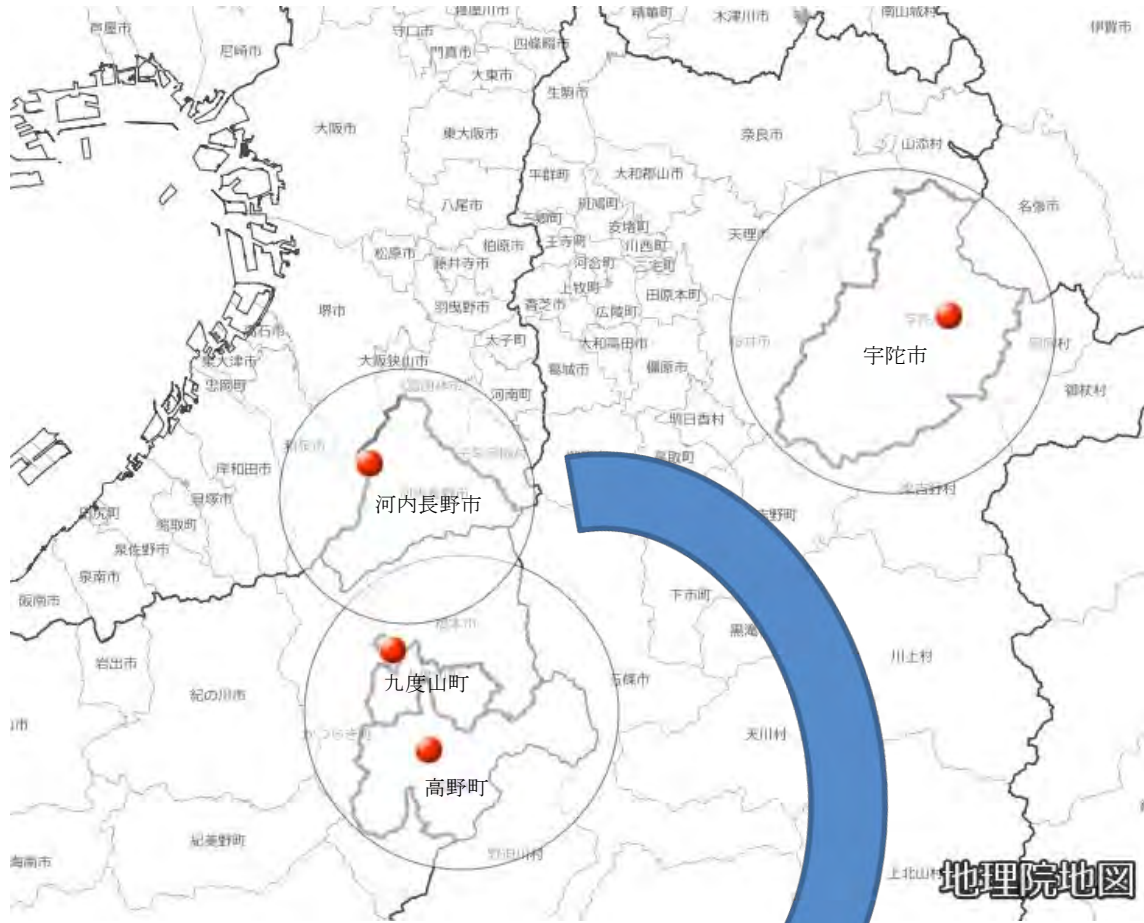
大野寺周辺



安産寺周辺



市町村の位置図 (河内長野市)

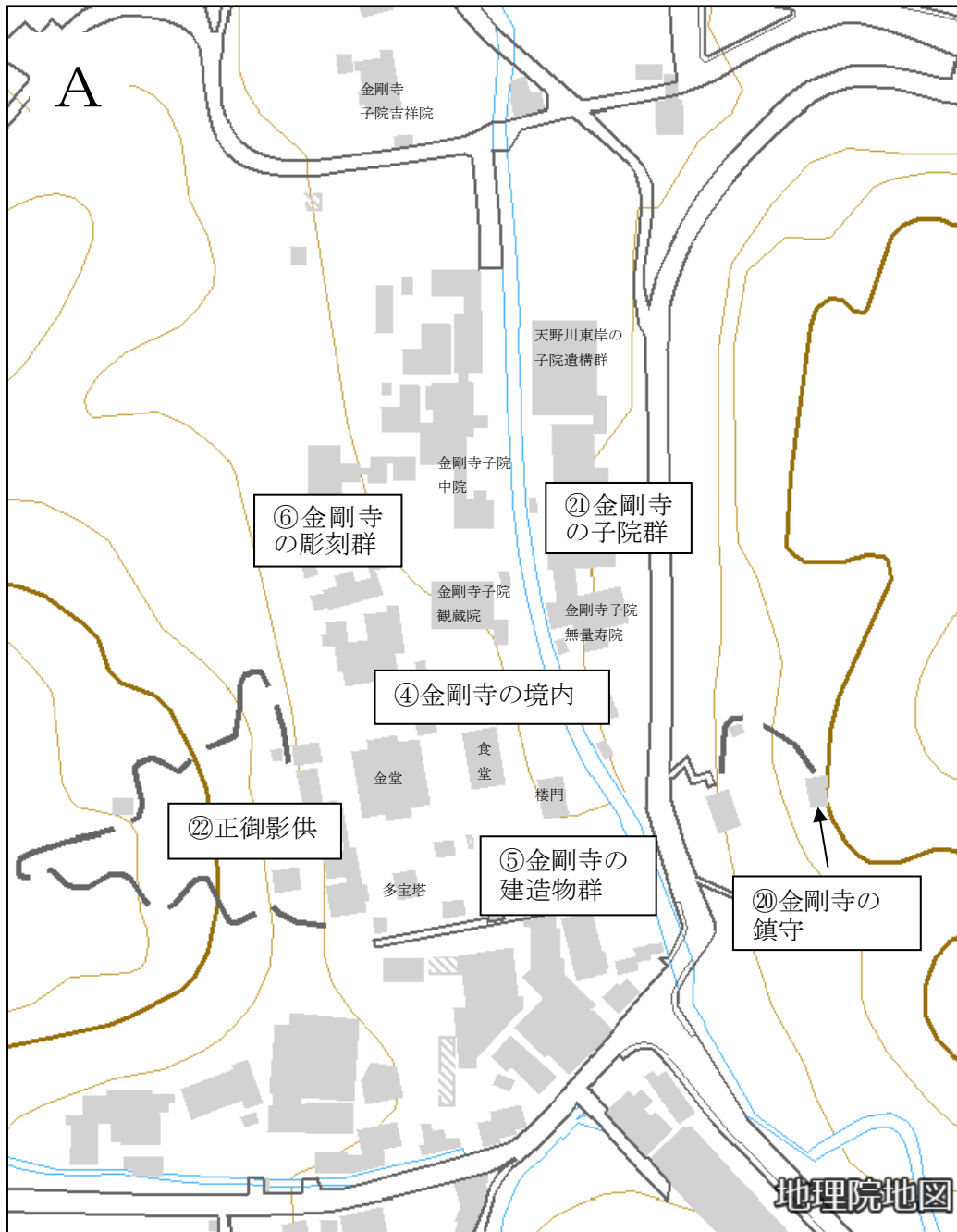


構成文化財の位置図(地図等)①

金剛寺及び天野街道

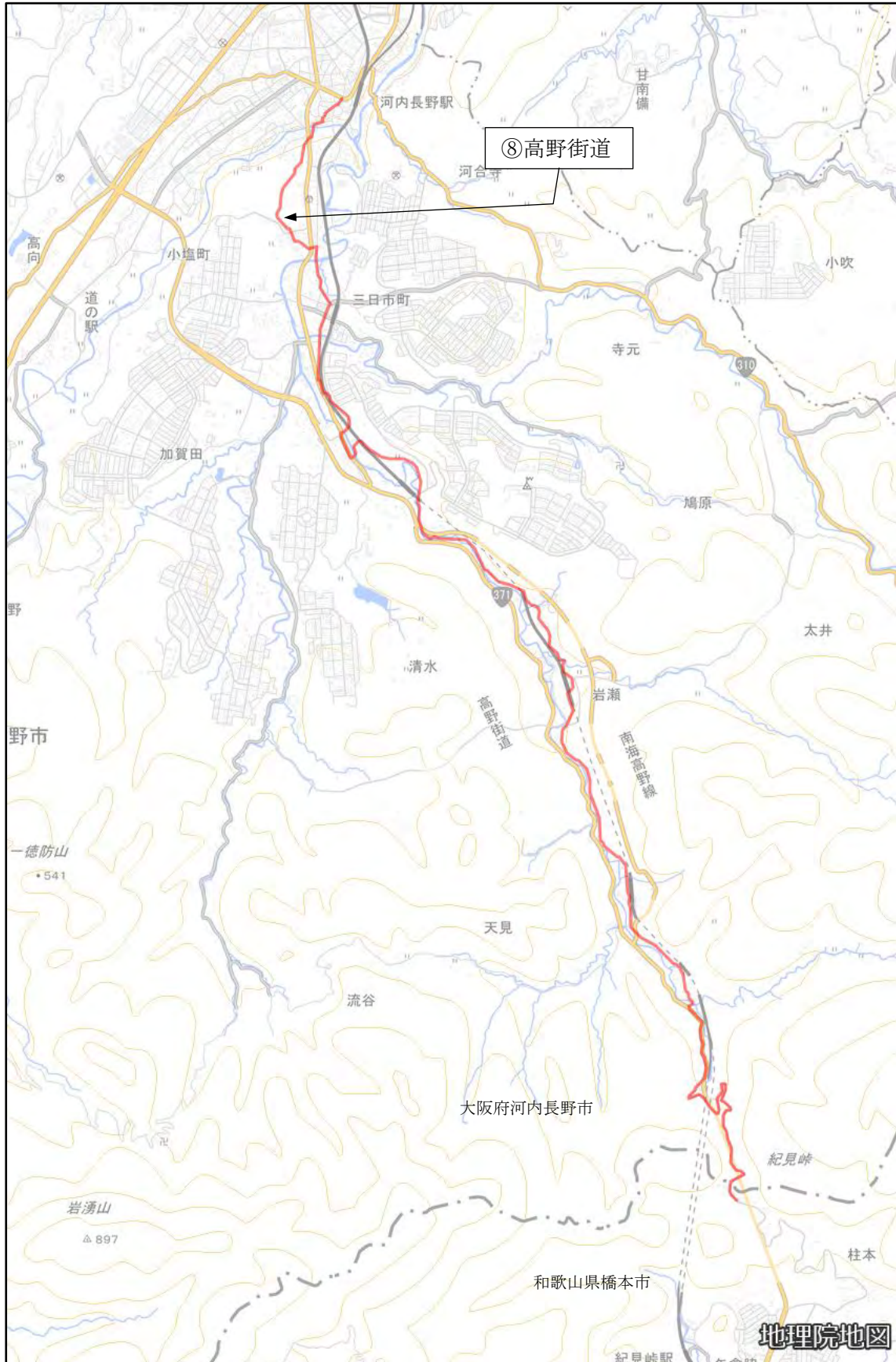


金剛寺境内

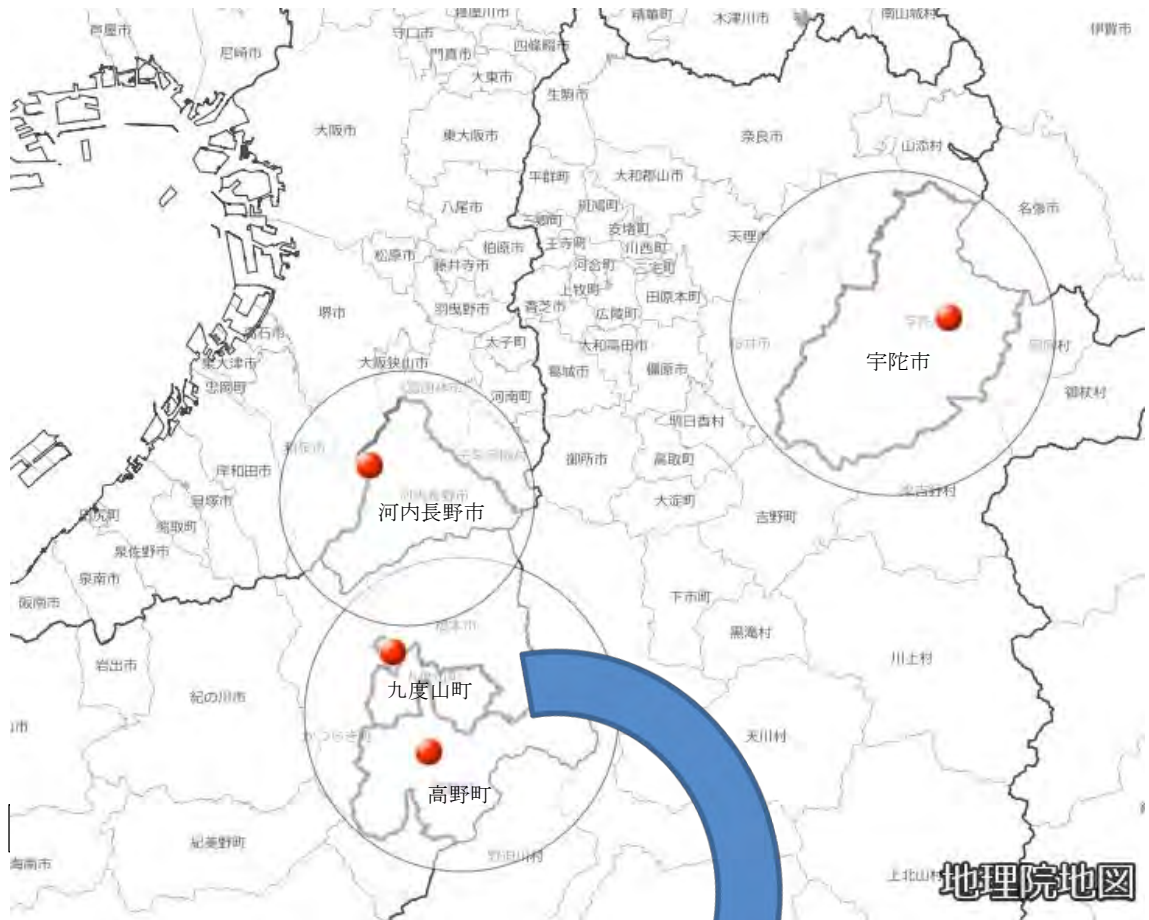


構成文化財の位置図(地図等)②

高野街道

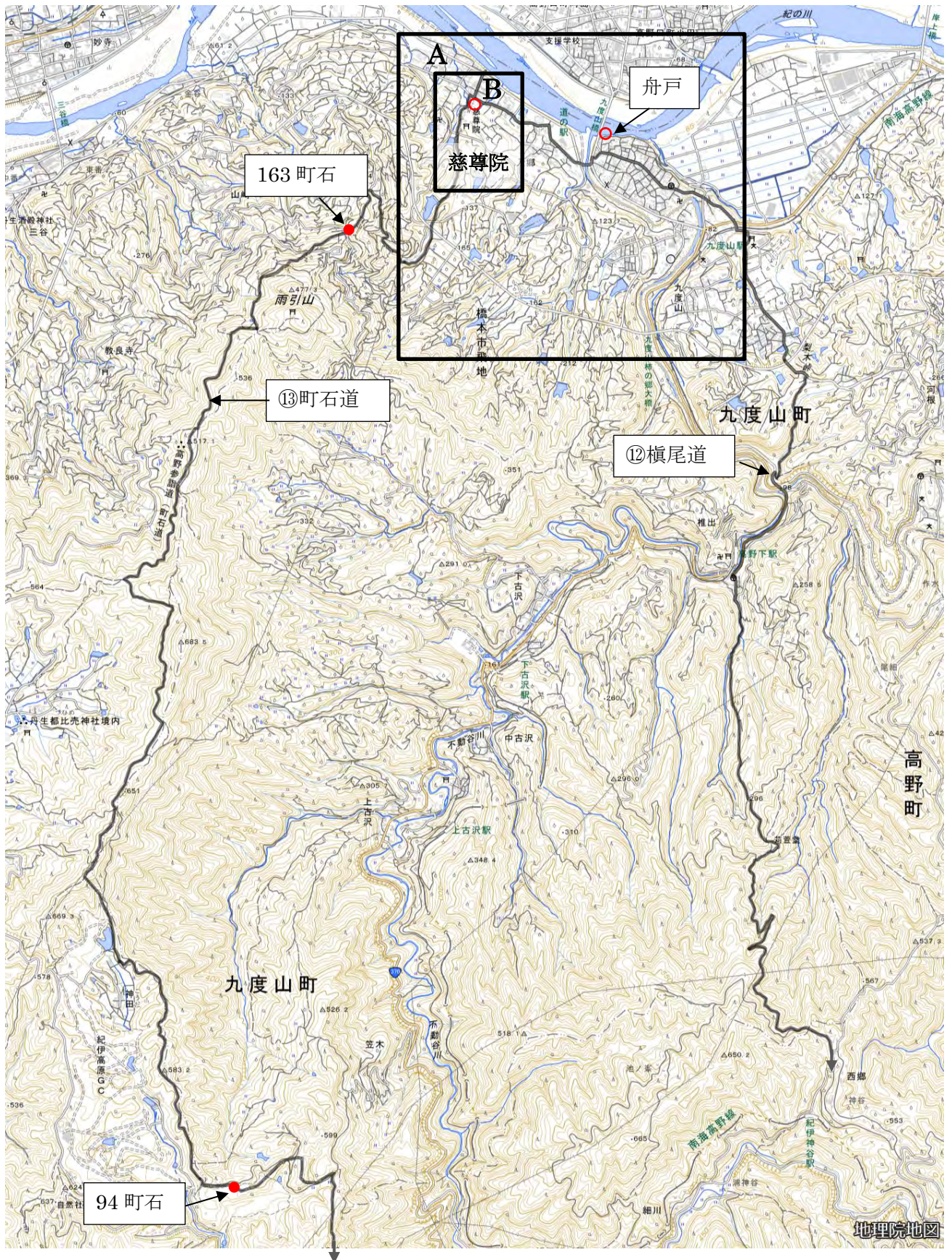


市町村の位置図(九度山町)

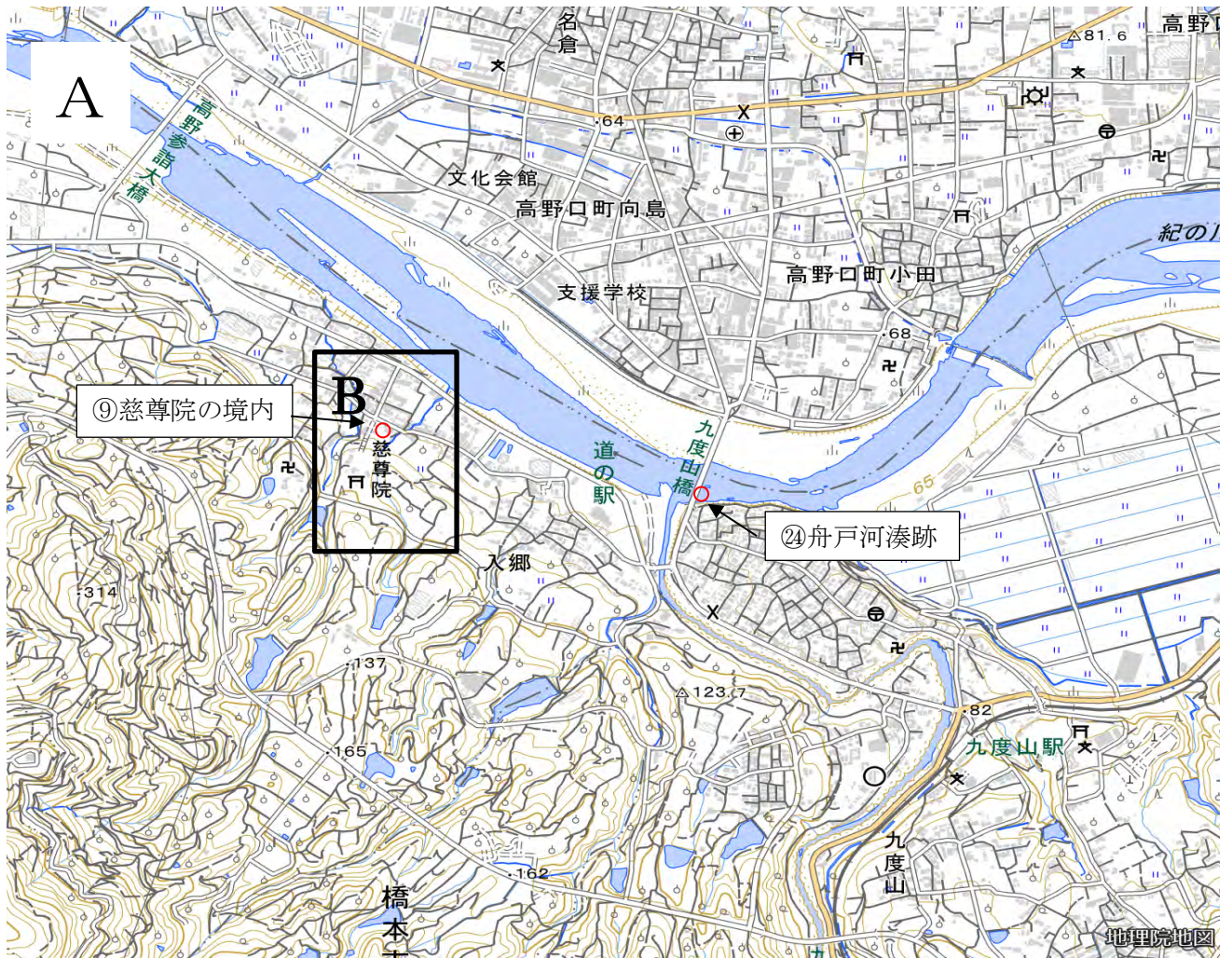


構成文化財の位置図(地図等)②

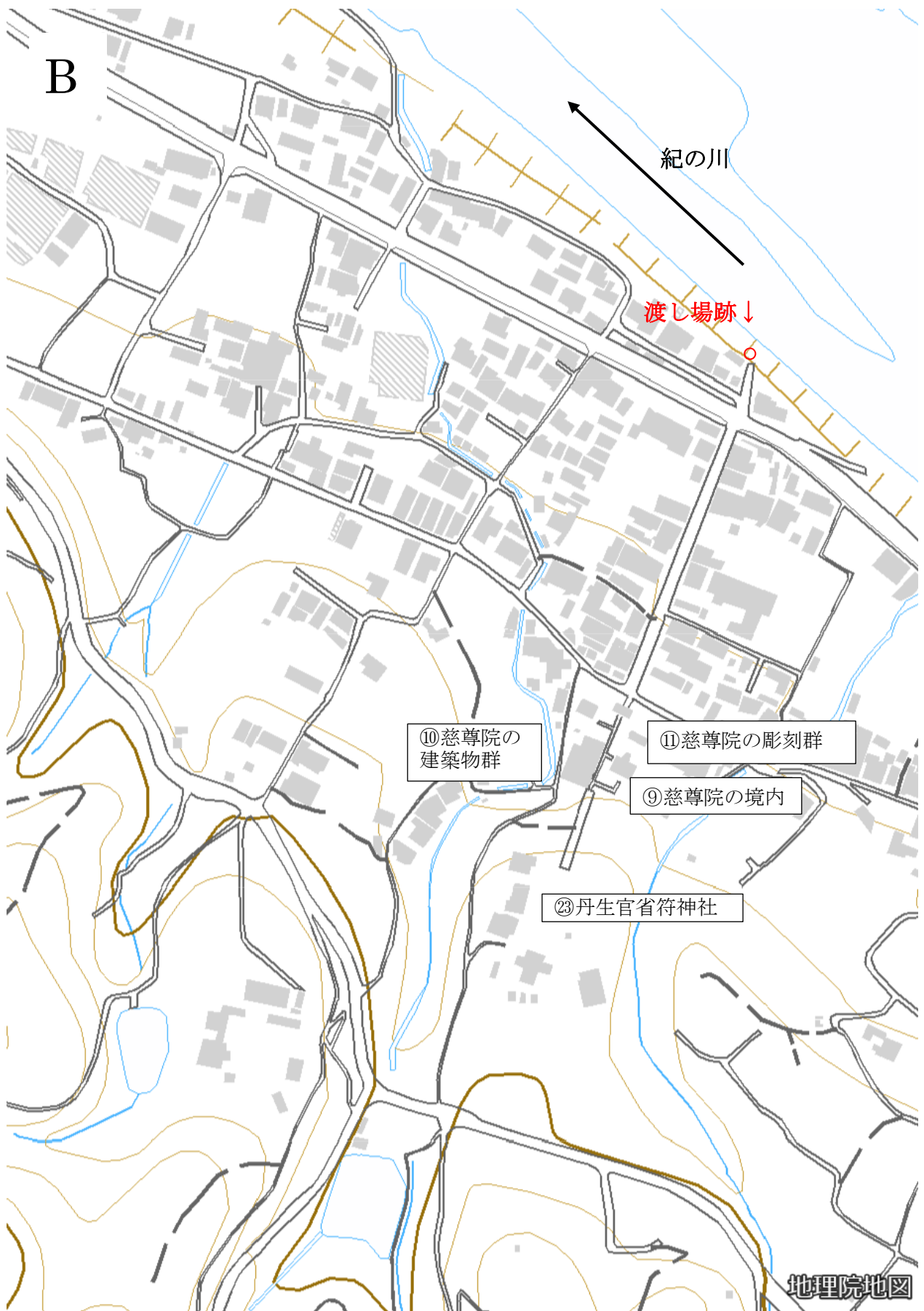
慈尊院周辺と榎尾道・町石道



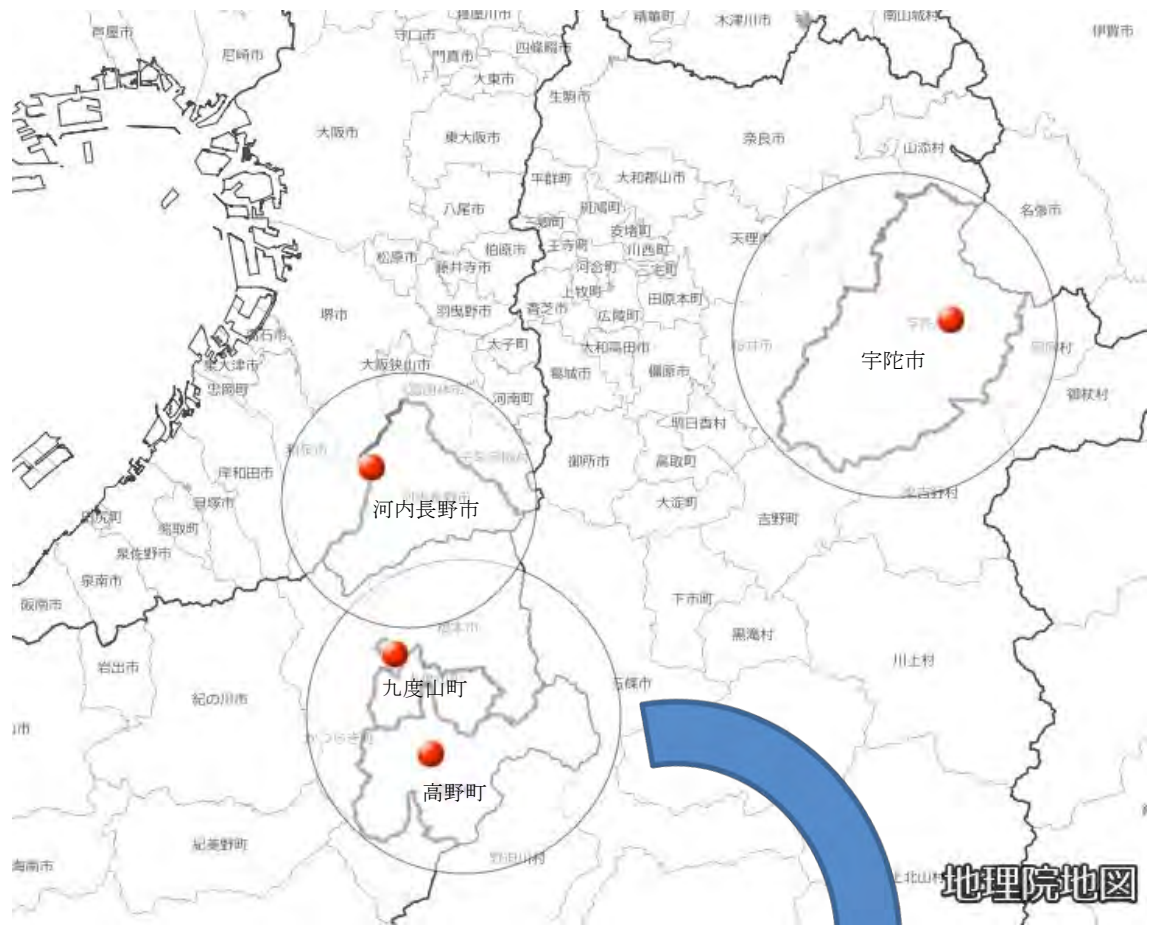
慈尊院と舟戸河湊跡周辺



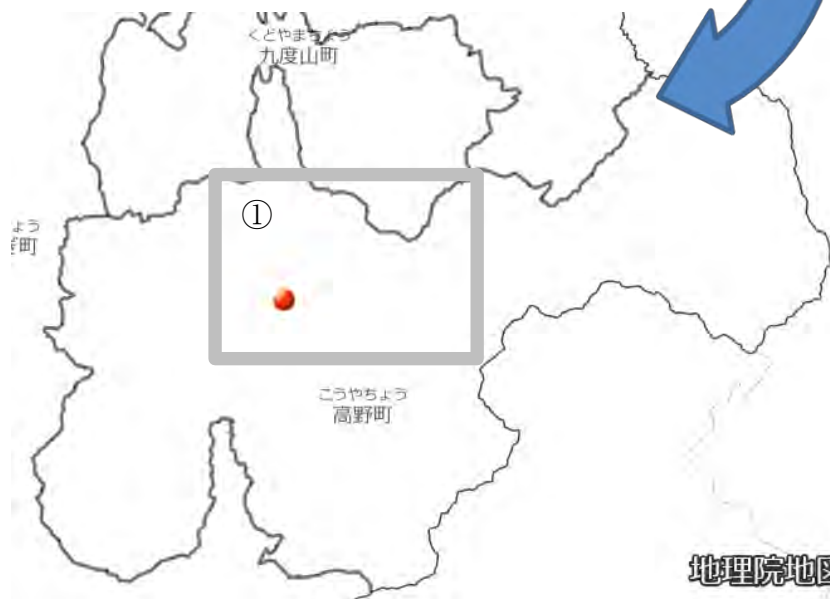
慈尊院周辺



市町村の位置図 (高野町)



地理院地図



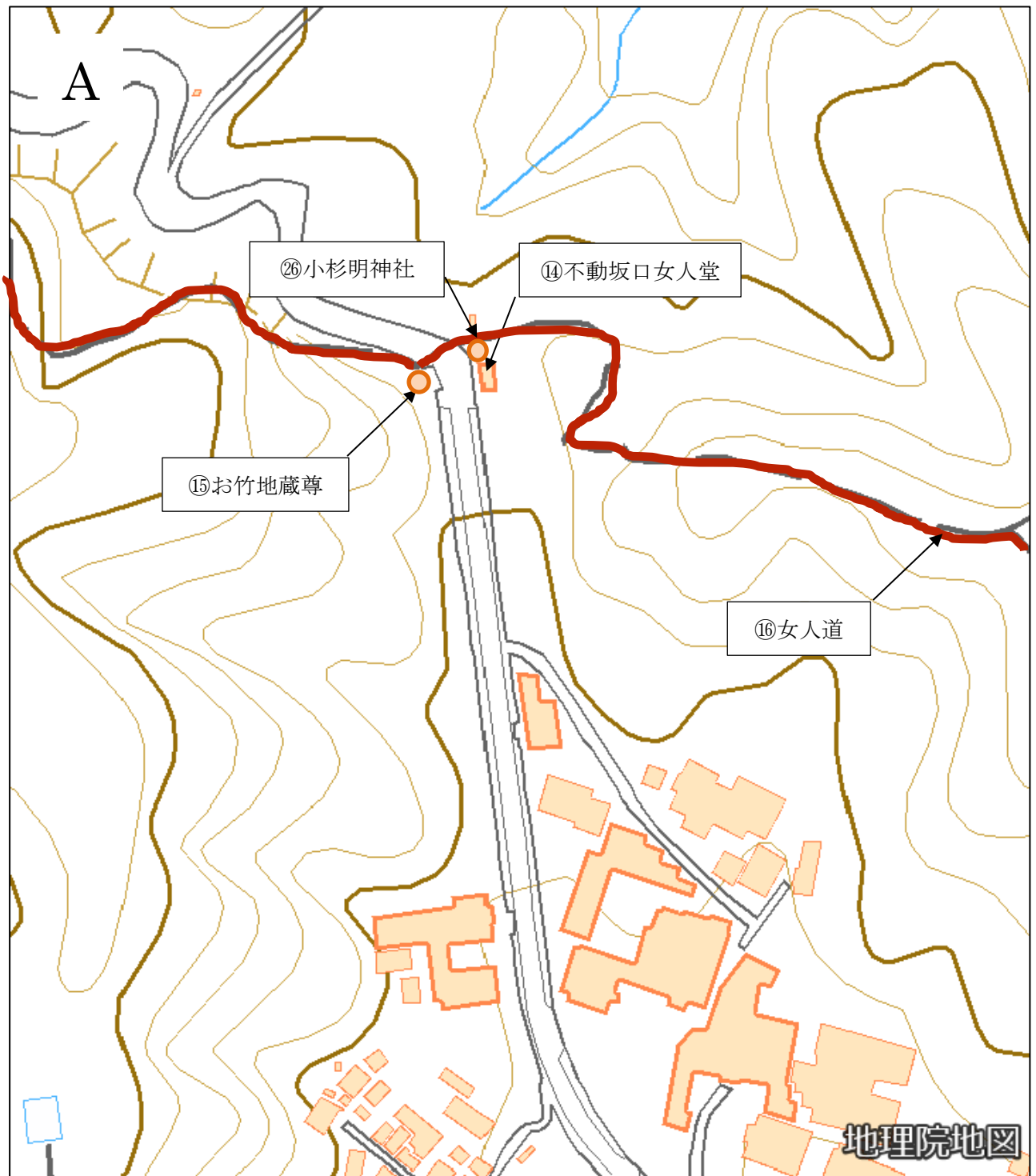
地理院地図

構成文化財の位置図(地図等)①

女人道等



不動坂口女人堂付近



子継地蔵(粉撞地蔵)付近



助けの地蔵付近



## ストーリー

## 1. 女人高野

「高野山にはの、女は入れへんがのう、この慈尊院までは上られるんやしてよし。そやよってに、ここは女人高野と云うんやして。花は知ってたわの」。これは有吉佐和子の名著、『紀ノ川』の冒頭部分である。

空海が弘仁7年(816)に嵯峨天皇から高野山を下賜され、高野山は開創当初から「女人結界」が定められたと伝えられている。これは修行者の墮落を防ぐための不邪淫戒という戒めによって、修行者を律するものであった。後の思想である、女性と穢れを結びつけ、聖域への立ち入りを禁じた「女人禁制」とは異なっていた。

この女人結界が解かれるのは、近代化を進める明治5年(1872)の太政官布告第98号「神社仏閣女人結界ノ場所ヲ廢シ登山参詣随意トス」によってであるが、高野山は更に遅れて明治後半になってからである。開創から千有余年の間、「高野山にはの、女は入れへんがのう」という時代が続いたが、**そんな時代にあっても空海と縁を結び、祈りを届けたいという女性たちの願いを聴いていた、「女人高野」と呼ばれる4つのお寺があった。**

**六一山室生寺**は徳川5代将軍綱吉の母、桂昌院の寄進によって堂塔を修理したことから女人高野と称するようになった。**天野山金剛寺**は後白河院の妹、八条女院の祈願所となったこと、そして八条女院に仕えていた2人の姉妹が出家し寺主になったことから女人高野と呼ばれた。**万年山慈尊院**は空海の母、玉依御前が滞在し、没後本尊としていた弥勒菩薩に化身したという信仰から女人高野と呼ばれた。また、**不動坂口女人堂**は、高野七口に建てられた女性の参籠が許された七つの女人堂のうちの一つで、現存する唯一のお堂である。

## 2. 『名所図会』と女性の旅

この「女人高野」と呼ばれた寺院は江戸時代、諸国の社寺、景勝地など実景描写の挿絵を入れ、解説した『名所図会』に描かれていた。『名所図会』は徳川幕藩体制の安定、経済活動の進展にともなって、庶民も高野詣で、お伊勢参り、西国巡礼などお参りを兼ねて旅に出るといふ、近世において庶民の生活にも潤いが出てきた中で刊行された江戸時代の旅行ガイドブックである。

この頃の旅は、道や交通用具の発達した今日と違い、数か月に及ぶこともあった。特に女性にとっては関所における女改めは厳しく、また高野山への参詣も辛い山登りであった。



女人高野室生寺



名所図会に描かれた金剛寺



現在の金剛寺境内



住民とともに行う祭礼



紀の川を見下ろす町石道

## ストーリー

高野山への参詣道として七つの道があり、それぞれの道を登りきった女人結界には女性のための籠(こもり)り堂として女人堂が建てられた。山内に入れない女性たちはここで手を合わせて祈り、夜を明かした。この七つのお堂は一つの道で繋がっており、女人道と呼ばれた。女人道は、女人堂から女人堂へと金剛峯寺を中心に蓮の花びらにたとえられた八葉蓮華の峰々の尾根伝いの道である。女人道という名からは想像を覆す険しい道である。女性たちはお堂だけではなく、この険しい道を歩きながら樹間から垣間見える壇上伽藍や奥之院に手を合わせていた。この女人堂での参拝については、九州からの夫婦の高野詣で旅日記が現在に残り、それにより女人堂の間取りや参拝者が全国各地からであったことが分かっている。

女人堂の一つである不動坂口女人堂の前に地蔵尊(通称「お竹地蔵尊」)が造立されている。これは江戸の元飯田町の「横山たけ」という一人の女性が、亡夫の供養のため高野山に参詣し、女人堂に参籠していた時に夢に地蔵が現れたことから延享2年(1745)に造立したものである。

女性たちは、女人堂に籠り、夜通し祈った後に、眼下に悠々と流れる紀の川を見下ろしながら山を下りた。峠を越え、山を登る厳しい参詣が出来ない女性たちは高野山の麓にある慈尊院、高野街道近くの金剛寺でお参りをした。また、お伊勢参りと兼ねて伊勢本街道近くの室生寺に参詣していた。

### 3. 見守り続ける癒しの聖地

身内の冥福を祈り、明日の安らぎを願う声を聴き届けていた女人高野は、今も安産、授乳、育児や乳がん平癒などを願って多くの女性たちが参詣している。

お寺では乳がん撲滅を願い、ピンクリボンデーに読経とともに多宝塔をピンクに染め上げ、文化財を活かした啓発活動をしている。また、世界文化遺産にもなった、高野山の麓から奥之院に続く町石道、女人堂と女人堂を繋ぐ女人道は、自然に恵まれた緑豊かな道であり、近年では多くの訪日外国人旅行者が文化財とともに、自然の癒しを愉み、時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づいている。

優美な曲線を描くお堂の屋根、静かに願いを聴いている柔和なお顔の仏像、四季の移ろいを映す周囲の樹々、これらが調和した空間を見事に実写した『名所図会』の女人高野は、今も姿、形が変わることなく境内林に囲まれて佇み、また、住民とともに祭礼を行うなど地域に根ざし、多くの女性たちの願いを聴いている。これからも訪れる女性たちを心安らかに見守り、癒し続けて止むことはない。



不動坂口女人堂



険しい女人道



慈尊院の乳型の絵馬



ピンクリボン啓発ライトアップ



見守り癒し続ける仏像

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
①	室生寺の境内	未指定(史跡)	『大和名所図会』に「世の人女人の高野ともいへり」と紹介された、ストーリーの中核をなす寺院である。 室生寺境内は、伊勢本街道に近く、室生山の山麓から中腹に広がり、代表的な山岳寺院のひとつである。空海と深いつながりがあり、五重塔西側の如意宝珠山からは当時の貨幣、琥珀玉なども見つかっている。	奈良県宇陀市
②	室生寺の建造物群	国宝・国重文 (建造物)	山間の深い緑に囲まれ、奈良時代末から江戸時代の建造物が景観の主要な構成要素となっている。 室町時代以前の建造物は、国指定文化財であり、本堂、金堂、五重塔は国宝である。その五重塔は、室生寺最古の建造物である。	奈良県宇陀市
③	室生寺の彫刻群	国宝・国重文 (彫刻)	平安時代を中心とする、木造釈迦如来立像、十一面観音立像、如意輪観音坐像などの国宝、重文をはじめ、幾つもの彫刻が伝えられており、本堂、金堂、弥勒堂に安置され、高野山に女人結界が設けられていた時から多くの女性たちの願いを聴いている。 これらの彫刻群は、当地に真言密教が展開されたことを物語っている。	奈良県宇陀市
④	金剛寺の境内	国史跡	『河内名所図会』に「女人の高野と称号し給ふ」と紹介された、ストーリーの中核をなす寺院である。 金剛寺境内は、高野街道に近く、隆盛期には天野谷に100程度の子院から構成されていた。空海も修行をした寺として伝えられ、畿内最南端にありながら京の朝廷との関係が強く、後	大阪府河内長野市

			白河院の妹、八条女院の祈願所とされた。	
⑤	金剛寺 <sup>こんごうじ</sup> の建造物群	国重文（建造物）	<p>檜、杉の寺叢林に囲まれ、中世から近世前半に建築されたものが多く、築地堀内の堀も含め歴史的建造物全てが重要文化財であり、景観の主要な構成要素となっている。</p> <p>南北朝時代、後村上天皇が政庁とした建物そのものが残っている。</p>	大阪府河内長野市
⑥	金剛寺 <sup>こんごうじ</sup> の彫刻群	国宝・国重文（彫刻）	<p>中世の密教彫刻が数多く伝わっており、大日如来坐像、不動明王坐像などの国宝をはじめ、幾つもの彫刻が伝えられている。</p> <p>中世に開花した文化とかつてこの地が繁栄したことを今日に伝え、高野山に女人結界が設けられていた時から多くの女性たちの願いを聴いている。</p>	大阪府河内長野市
⑦	天野 <sup>あまの</sup> 街道 <sup>かいどう</sup>	未指定（史跡）	天野街道は、堺市内で西高野街道から分岐し、金剛寺に向う祈りの道である。今も牧歌的な農村風景を残し、多くのハイカーに利用されている道である。	大阪府河内長野市
⑧	高野 <sup>こうや</sup> 街道 <sup>かいどう</sup>	未指定（史跡）	高野街道は空海が高野山を開創して以後、皇族・貴族、そして近世以降は庶民も参詣に利用し、女人結界近くの女人堂まで多くの女性たちが歩いた道である。	大阪府河内長野市、和歌山県九度山町・高野町
⑨	慈尊 <sup>じそん</sup> 院 <sup>いん</sup> の境内	未指定（史跡）	<p>『紀伊国名所図会』に「母公は弥勒慈尊の垂跡とか聞こゆ。それより慈尊院を通称とす」と紹介された、ストーリーの中核をなす寺院である。</p> <p>慈尊院境内は、高野山の麓、紀の川畔に位置していたが、天文9年(1540)の洪水により、当初、境内の一郭であった現在の、紀の川を見下ろす小高い地に移転されたという。</p>	和歌山県九度山町

⑩	慈尊院 <small>じそんいん</small> の建物群	国重文（建造物）、県有形	高野山の麓の樹々に囲まれ、堂宇とともに厚く築かれた築地塀が景観の主要な構成要素となっている。 承安3年（1173）に再建された弥勒堂は重文で和歌山県内最古の建造物であり、その前に拝堂が建てられている。	和歌山県九度山町
⑪	慈尊院 <small>じそんいん</small> の彫刻群	国宝（彫刻）、県有形	国宝弥勒仏は平安初期の密教草創期の代表作例であり、母君の死後空海が自ら刻んだと伝えられ、重文画像は国宝の御前立として信仰されている。 女性に関わる事象が多く、『女人高野』と称される所以である。	和歌山県九度山町
⑫	榎尾道 <small>まきおみち</small>	未指定（史跡）	榎尾道は高野山と西国三十三所観音霊場を繋ぐ参詣道であるが、途中で金剛寺への分岐ルートも残され、『女人高野』巡りの体験ルートとしても注目される遺産である。	和歌山県九度山町・高野町、大阪府河内長野市
⑬	町石道 <small>ちやういしみち</small>	国史跡	慈尊院を起点に女人結界を経て、高野山奥之院に至る町石道は約 24 km に及ぶ参詣道。 五輪卒塔婆をかたどった鎌倉時代に遡る町石が1町（109m）ごとに建ち、この道を通って、女性たちは大門口女人堂まで登った。	和歌山県九度山町・高野町
⑭	不動坂口女人堂 <small>ふどうざかぐちによんどう</small>	未指定（建造物）	『紀伊国名所図会』に「諸国より参詣の女人投宿する所なり。」と紹介された、ストーリーの中核をなす寺院である。 不動坂口女人堂は現存する唯一のもので、室町時代から拡張が繰り返されたものと考えられている。	和歌山県高野町
⑮	お竹地蔵尊 <small>おたけじぞうそん</small>	未指定（彫刻）	江戸の元飯田町の「横山たけ」という女性が亡夫の供養のため高野山に参詣し、女人堂に参籠していた時に夢に地蔵が現れたことから延享2年（1745）に造立したものと伝えられている。	和歌山県高野町

⑯	<sup>にょにんみち</sup> 女人道	国史跡	<p>明治後半に女人禁制が解かれるまで、高野山内へは女性が立ち入ることはできなかった。</p> <p>それまでの間、女性たちが、「一目壇上伽藍や奥之院を見てみたい。」「修行をしている我が子の姿を見たい。」と、高野山の外周の尾根道に拓いたのが、女人道である。</p>	和歌山県高野町
⑰	<sup>ぶつりゅうじ</sup> 佛隆寺	国重文（建造物）、県天然	<p>室生寺の南門ともいわれる。</p> <p>寺伝では嘉祥 3 年（850）、空海の高弟 堅 恵 の創建という。宝形造りの石室（国重文）は、貞観 9 年（867）に入定した堅恵の墓と伝えられている。</p> <p>サクラの巨樹（県指定）は、奈良県下最大・最古といわれている。</p>	奈良県宇陀市
⑱	<sup>おおのでら</sup> 大野寺	国重文（彫刻）、国史跡	<p>室生寺の西門ともいわれる。</p> <p>石仏（弥勒仏・国史跡）は、承元 3 年（1209）に後鳥羽上皇臨席のもと開眼供養が行われたものである。</p> <p>木造地蔵菩薩立像は、後頭部から背面全体が炭化している。本像が無実の娘を火あぶりの刑から救ったという伝説があり、「身代わり地蔵」とも呼ばれている。</p>	奈良県宇陀市
⑲	<sup>あんざんじ</sup> 安産寺	国重文（彫刻）	<p>かつて、室生寺金堂に安置されていた地蔵菩薩立像（国重文）を本尊とする。子安地蔵とも呼ばれ、安産・子授の信仰を集め、多くの女性が参拝している。</p>	奈良県宇陀市
⑳	<sup>こんごうじ</sup> 金剛寺の鎮守	国重文（建造物）、国史跡	<p>金剛寺中心伽藍の東にある丘陵上に建つ鎮守社である。金剛寺の守護神を祀る。</p>	大阪府河内長野市
㉑	<sup>こんごうじ</sup> 金剛寺の子院群	国重文（建造物）、国登録、国史跡	<p>中心伽藍に連なり、また、東側に流れる天野川に面して子院が建ち並ぶ。</p> <p>南北朝時代、南朝の天皇と北朝の上皇が塀を隔てて一時期住まわれていた子院である。</p>	大阪府河内長野市

②②	しょうみえく 正御影供	市無形民俗	室生寺、金剛寺の僧侶と地域住民が一体となって行っている祭礼である。 地域社会と深い関係を築きながら発展した室生寺、金剛寺の姿を今日に伝えている。	奈良県宇陀市・大阪府河内長野市
②③	にうかんしょうふじんじや 丹生官省符神社	国重文（建造物）	慈尊院の鎮守に当たり中世には丹生七社明神社とも称され、多数の社殿群を構えていた。現在は室町後期の社殿3棟が残され極彩色で飾られた華麗な社殿で、境内には二本目の町石が所在する。	和歌山県九度山町
②④	ふなとかわみなと 舟戸河湊跡	未指定（史跡）	紀の川左岸の高い岩盤際に造られた河湊で、大消費地である高野山への資材を陸揚げした重要な交通関連施設で、女人堂の建設、運営にも利用されたと考えられる。 断崖は、紀州の名石である青石（緑泥片岩）である。	和歌山県九度山町
②⑤	こつぎじぞう(こつぎじぞう) 子継地蔵（粉撞地蔵）	未指定（彫刻）	女人道と黒河道とが合流する子継峠に建てられた峠の地蔵。「子を継ぐ」という峠の名に由来し、「子を授ける地蔵」として厚い信仰があり、今でも願掛けに訪れる人が絶えない。 永正9年（1512）の建立。	和歌山県高野町
②⑥	こすぎみとうじんじや 小杉明神社	未指定（建造物）	弘法大師のご加護により命を救われた小杉という女性が、自分と同じく弘法大師を慕って登山する女性のために、不動坂口に参籠所（女人堂と呼ばれるようになる）を開いて接待したと伝えられている。この神社はその小杉という女性を鎮守として祀っている。	和歌山県高野町
②⑦	たすじぞう 助けの地蔵	未指定（彫刻）	一生に一度だけ願い事を叶えてくれると言われ、お参りの人が絶えないお地蔵さま。龍神道と女人道が分岐する辻に建てられ、「辻の地蔵」とも呼ばれる。女性の参拝者も多い。	和歌山県高野町

- (※1) 文化財の名称には振り仮名を付けること。
- (※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形、未指定(建造物)、等）。なお、**未指定であっても文化財保護の体系に基づいた分類を記載**すること。
- (※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。
- (※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。

## 構成文化財の写真一覧

①<sup>むろうじ</sup>室生寺の境内



②<sup>むろうじ</sup>室生寺の建造物群



③<sup>むろうじ</sup>室生寺の彫刻群



④<sup>こんごうじ</sup>金剛寺の境内



⑤<sup>こんごうじ</sup>金剛寺の建造物群



⑥<sup>こんごうじ</sup>金剛寺の彫刻群



⑦<sup>あまのかいどう</sup>天野街道



⑧<sup>こうやかいどう</sup>高野街道



⑨ じそんいん 慈尊院の境内



⑩ じそんいん 慈尊院の建物群



⑪ じそんいん 慈尊院の彫刻群



⑫ まきおみち 槇尾道



⑬ ちょういしみち 町石道



⑭ ふどうざかぐちによんどう 不動坂口女人堂



おたけじぞうそん  
⑮お竹地藏尊



よにんみち  
⑯女人道



ぶつりゅうじ  
⑰佛隆寺



おおのでら  
⑱大野寺



あんざんじ  
⑲安産寺



こんごうじ  
⑳金剛寺の鎮守



こんごうじ  
㉑金剛寺の子院群



しょうみやく  
㉒正御影供



②③ にうかんしょう ぶんじや  
丹生官省符神社



②④ ふなとかわみなと  
舟戸河湊跡



②⑤ こつぎじぞう (こつぎじぞう)  
子継地蔵 (粉撞地蔵)



②⑥ こすぎみょうじんじや  
小杉明神社



②⑦ たす じぞう  
助けの地蔵



## 日本遺産を通じた地域活性化計画

## (1) 将来像 (ビジョン)

「女人高野」をテーマとした日本遺産の認定を契機として、4自治体が観光、歴史文化を中心とした連携を行うことにより、「集客と消費を高める観光」を確立し、このエリアの社会、経済の活性化を目指す。

このエリアは、国内旅行者の1泊2日又は2泊3日の観光コースとして、4自治体は最適な位置関係に在り、また近隣の日本遺産認定地域と組み合わせることによって、更なる広域観光周遊ルートとして訪日外国人旅行者にとっても、歴史、自然が満喫できる、日本を体感できるエリアである。

多くの観光客の来訪は、新たな観光産業、商業を生み出すとともに、各自治体の住民たちが我がまちの魅力を再認識し、誇りを持つことに繋がり、歴史文化遺産の継承、郷土愛の醸成と定住化の促進に向けた役割をも果たすことができる。更にはこれまでの観光、教育、地域づくりでの文化財の活用に加え、「女人高野」に関連し、多宝塔などのピンク色のライトアップによる乳がん撲滅及び祈りによる心の平安や豊かな自然とのマッチングによるセラピー効果など新たに保健・子育て部門での活用が可能であり、「女人高野」を身近なものと感じ、女性の健康意識の向上にも寄与できる。

この状態を作り出すため、それぞれの自治体の総合計画では文化財の保存・活用と観光・産業との連携を謳い、その計画実現に向けて、地域で語り、伝えられてきた歴史文化遺産を確実に次世代に引き継ぐとともに、適切な活用によってまちの活力を生み出し、日本遺産が地域活性の推進力となる取り組みを行っていく。

## (2) 地域活性化のための取組の概要

「女人高野」と呼ばれた室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂は江戸時代、旅を兼ねた女性の参拝者で賑わっていた。高野山では明治後半に「女人結界」が解かれたが、女人高野では今日も女性の参拝者が多く、家内安全、安産、授乳や婦人科の病氣平癒などを願っている。しかし、「女人高野」と呼ばれたこれらの4ヶ寺は、これまで一定のテーマ性を持って、戦略的な連携した取り組みはなされてこなかった。このことから近隣にありながら、広域観光に繋がることはなかった。

このような現状において、「女人高野」をテーマとし関係地域が連携することによって日本遺産を核とした、エリアの歴史文化遺産を積極的に活用し、交流人口及び関係人口の増加、地域の活性化を推進するため、以下の取り組みを行う。

①【**活用整備**】 案内施設の整備を行うことによって、女人高野巡りを推進する。

来訪者に日本遺産、女人高野を分かり易く情報発信し、案内できるように既存の案内施設を改修し、日本遺産コーナーを整備する。

②【**人材育成**】 エリア内の「女人高野」構成文化財の説明ができるよう、地域人材の育成を図る。

それぞれの地域の観光ボランティアが、日本遺産の説明、エリア内の全ての「女人高野」構成文化財の説明ができるよう、講習会を開催するとともに、自らが「女人高野」構成文化財の魅力を発信できるよう、SNSの技術講習も開催する。

③【**普及啓発**】 圏域内外で「女人高野」の魅力を伝え、普及啓発を行うことによって、郷土愛の醸成と関係人口の増加を図る。

日本遺産、「女人高野」の魅力を自治会への出前講座開催やパネルを作製し、各自治体内の公共施設などでの巡回展示を行うなどにより、郷土愛の醸成を図る。また、大人だけでなく、子どもたちにも自分たちが住むまちの魅力、そして連携したまちの魅力を学べるよう、「女人高野」学習冊子を作製する。

更に、圏域外でも講演会・シンポジウムを開催することで、女人高野巡りに導くとともに関係人口を増やし、事業継続実施の裏付けとするふるさと納税の推進をも目指す。

④【**調査研究**】 「女人高野」に関する調査研究を実施する。

文献調査やそれに基づいた現地調査を行うことにより、「女人高野」について詳細な史実確認を行う。この成果を今後の普及啓発としての講演会・シンポジウムや観光戦略に活かしていく。

⑤【**情報発信**】 エリア内に「女人高野」案内板を作製するとともに、「女人高野」の魅力を発信する。

「女人高野」と呼ばれた寺院が、近隣にあることを周知するため、「女人高野」の4ヶ寺巡りが一目で分かる案内板を設置する。なお、この案内板はインバウンドに対応し、且つ大型の看板にならないよう景観に配慮し、キャリアを問わず安定的に携帯電話が取得でき、WiFi環境が整っている箇所（今後の整備も含めて。）においては、QRコードを用いた多言語対応とする。

また、観光に結びつく歴史文化遺産としての魅力は4ヶ寺とも十二分にあるので、「女人高野」の認知度を高めるため、乗降客の多い駅でデジタルサイネージなどによる効果的な情報発信を行う。

## (3) 自立的・継続的な取組

補助事業期間終了後も継続的な取組みが可能となるよう、まずは協議会の存立を恒常的なものとする。そのため4自治体及び4ヶ寺の意思統一を図り、協議会を積極的に支援する、首長、寺院代表者で組織する「女人高野サミット」を令和2年1月に設立した。このことで協議会と連携強化を図りながら、事業を継続していく事前準備を行った。また、高野町では同月に（一社）高野町観光協会が地域DMOを取得した。

事業終了後の取組みにおいては、自治体からの補助金をはじめ、府・県や国の他の補助金等を積極的に申請するとともに、クラウドファンディングをも活用する。情報発信等の施策を積極的に、継続的に進めることで、多くの人々が来訪→住民の誇りと郷土愛の醸成→おもてなしの心→更なる来訪→新規出店→税収増・・・この好循環を作り出すことによって、新たな観光産業の創出に繋げ、支援条件を整え、地域社会、経済の活性化を図る。

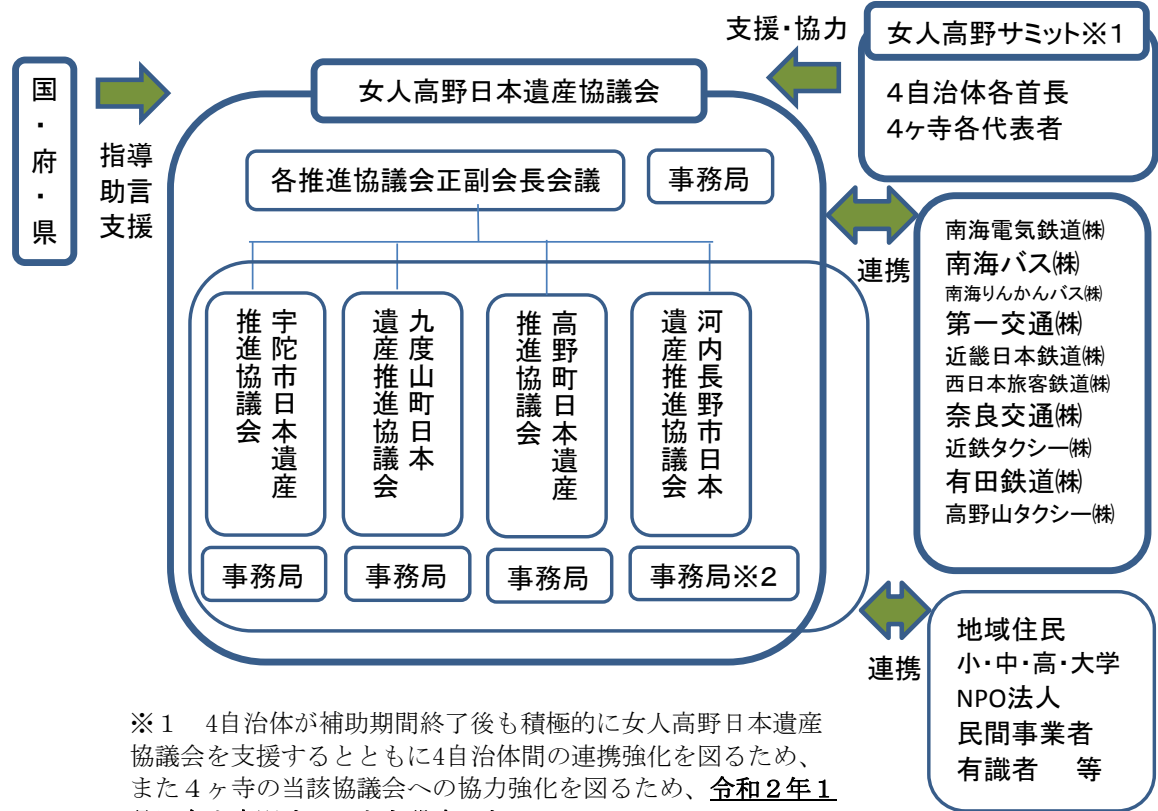
(4) 実施体制

(仮称) 女人高野日本遺産協議会

日本遺産協議会：日本遺産協議会内に各自治体の推進協議会を設け、この推進協議会の正副会長で構成するその会議で事業計画等の意思決定を図る。

推進協議会：宇陀市、河内長野市、九度山町、高野町それぞれに推進協議会設置する。構成団体例として河内長野市では、河内長野市商工会、河内長野市観光協会、かわちながの観光ボランティア倶楽部、河内長野市文化振興財団、河内長野市郷土研究会、文化財所有者、河内長野市職員・教育委員会職員を想定。

オブザーバー：南海電気鉄道(株)、南海バス(株)、近畿日本鉄道(株)、奈良交通(株)、大阪第一交通(株)近鉄タクシー(株)等公共交通機関にオブザーバーとして参画してもらうことにより、周遊チケットの販売、駅での情報発信などに大きな期待ができる。



※1 4自治体が補助期間終了後も積極的に女人高野日本遺産協議会を支援するとともに4自治体間の連携強化を図るため、また4ヶ寺の当該協議会への協力強化を図るため、令和2年1月に女人高野サミットを設立した。

※2 事務局は文化財、観光、企画等が主担としながらも、商工、農林、交通等の主管部局とも幅広く庁内連携を図る。

(5) 地域活性化計画における目標と期待される効果		定量的評価：別紙①のとおり	
期待される効果：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4自治体が連携することで、<u>広域観光による経済効果が高まる。</u></li> <li>・世界遺産の高野町では既に欧米を中心とした訪日外国人旅行者が、また室生寺では東南アジアからの訪日外国人旅行者の来訪が多いことから、広域観光によりその波及効果が期待できる。</li> <li>・<u>4自治体は、1泊2日又は2泊3日のバスツアーに最適な位置関係にあること</u>から、民間事業者によるバスツアーの造成が期待できる。</li> <li>・国内旅行者及び訪日外国人旅行者が多く来訪することで、地域経済の活性化と新たな観光産業の創出につながる。また、<u>観光客の増加は、拝観料等の増加につながり文化財保存の資金となり</u>、多くの人の来訪→保全→更なる来訪→更なる保全・・・の好循環を作り出す。</li> <li>・日本遺産認定による普及啓発活動は、住民にとって、我がまちの歴史文化遺産への誇りが醸成され、地域への愛着が深まるとともに、定住促進に繋がる。また、<u>圏域外での普及啓発活動は、関係人口の増加にも繋がり、ふるさと納税に期待できる。</u></li> </ul>		
(6) 日本遺産魅力発信推進事業		別紙②のとおり	
補助金額：	令和2年度：	14,618千円	令和3年度： 34,937千円 令和4年度： 22,923千円
(7) その他事業		別紙③のとおり	

## (5) 地域活性化計画における目標と期待される効果

設定目標Ⅰ:	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標:	観光客入込み数
具体的な指標:	4自治体観光客入込み数
関連事業:	(6)①、②、③、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪、⑬、⑭、⑮、⑯ (7)④、⑤、⑦、⑧、⑨、⑪、⑫、⑬、⑭
目標値:	令和 2 年度 3,358 千人 ⇒ 令和 8 年度 5,692 千人
設定根拠:	総合計画において観光客入込み数を指標としている自治体においては、示された数値(推計値含む。)に日本遺産による効果を年2%加算した伸び率とし、指標として示されていない自治体においては、過去3ヶ年の平均値等をR2の数値とし、それに日本遺産による効果を年2%加算した。
設定目標Ⅰ:	日本遺産を活用した集客・活性化
計画評価指標:	外国人観光客数
具体的な指標:	4自治体外国人観光客数
関連事業:	(6)①、⑩、⑪、⑬、⑯ (7)⑦、⑧、⑨、⑪、⑫、⑬、⑭
目標値:	令和 2 年度 113 千人 ⇒ 令和 8 年度 130 千人
設定根拠:	総合計画において外国人観光客数を指標としている自治体においては、示された数値(推計値含む。)に日本遺産による効果を年2%加算した伸び率とし、指標として示されていない自治体においては、過去3ヶ年の平均値等をR2の数値とし、それに日本遺産による効果を年2%加算した。
設定目標Ⅱ:	日本遺産を核としたコミュニティの再生・活性化
計画評価指標:	地域の文化に誇りを感じる住民の割合
具体的な指標:	住民意識調査の「地域の文化に愛着を感じる」の場合
関連事業:	(6)③、④、⑤、⑥、⑨、⑫ (7)①、②、⑥、⑦、⑧、⑩、⑪、⑬、⑮
目標値:	令和 2 年度 16.3 % ⇒ 令和 8 年度 28.3 %
設定根拠:	当該指標で市民意識調査を実施している自治体の過去3ヶ年の平均値をR2の数値とし、それに日本遺産による効果を年2%加算した。認定後は、各域内でのシンポジウム等でのアンケート調査により把握する。
設定目標Ⅲ:	日本遺産に関する取組を行うための持続可能な体制の維持・確立
計画評価指標:	日本遺産への協力団体数
具体的な指標:	各自治体の女人高野推進協議会参画団体
関連事業:	(6)④、⑥、⑫ (7)③、⑨、⑪、⑬
目標値:	令和 2 年度 29 団体 ⇒ 令和 8 年度 35 団体
設定根拠:	設立当初数(予定)から毎年度1団体加算した。
設定目標Ⅳ:	その他
計画評価指標:	その他
具体的な指標:	
関連事業:	
目標値:	令和 年度 ⇒ 令和 年度
設定根拠:	

※黄色で着色したセルの内容は変更しないでください。

※目標Ⅰ～Ⅳを複数設定する場合は、設定目標～設定根拠までをコピーして欄を増やしてください。

## 様式4 (別紙②)

## (6) 日本遺産魅力発信推進事業

事業①:	案内所の改修		
事業区分:	活用整備	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 2 年度
補助金額:	令和2年度: 2,000千円	令和3年度:	令和4年度:
事業概要:	来訪者に広く日本遺産女人高野及び構成文化財を紹介するため、既存の案内所に日本遺産女人高野コーナーを設ける。		
具体的な指標:	当該施設への入込み数		
目標値:	令和 2 年度	251 千人	⇒ 令和 8 年度 282 千人
事業②:	女人高野ガイドマニュアル作成及びガイド育成		
事業区分:	人材育成	事業期間:	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
補助金額:	令和2年度:	令和3年度: 2,400千円	令和4年度:
事業概要:	4自治体には、それぞれ観光ボランティアが存在するが、それぞれの地域において日本遺産の説明、他の地域の女人高野も説明できるようにガイドマニュアルを作成し、ガイド育成を行う。		
具体的な指標:	ガイド利用者数		
目標値:	令和 2 年度	19 千人	⇒ 令和 8 年度 28 千人
事業③:	女人高野に関する講演会・シンポジウムの開催		
事業区分:	普及啓発	事業期間:	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
補助金額:	令和2年度: 680千円	令和3年度: 1,534千円	令和4年度: 1,829千円
事業概要:	令和2年度は、それぞれの自治体において日本遺産の普及啓発、郷土愛の醸成、また他の自治体の女人高野を知り、連携意識を高めるため、4自治体のリレー方式で開催する。令和3年度は神戸市で、令和4年度は東京で開催することにより女人高野の魅力を伝え、女人高野巡礼に導くとともに関係人口を増やすことを目的とする。		
具体的な指標:	その他(関連文化財への入込み数(室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数))		
目標値:	令和 2 年度	207 千人	⇒ 令和 8 年度 297 千人
事業④:	パネル作製、巡回展		
事業区分:	普及啓発	事業期間:	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度
補助金額:	令和2年度:	令和3年度: 440千円	令和4年度: 444千円
事業概要:	それぞれの自治体において日本遺産の普及啓発、郷土愛の醸成、また他の自治体の女人高野を知り連携意識を高めることを目的として、パネルを作製し、4自治体で巡回展を行う。		
具体的な指標:	日本遺産の認知度		
目標値:	令和 2 年度	5 %	⇒ 令和 8 年度 30 %
事業⑤:	小・中学生の日本遺産学習冊子の作成		
事業区分:	普及啓発	事業期間:	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
補助金額:	令和2年度:	令和3年度: 5,000千円	令和4年度:
事業概要:	それぞれの自治体において日本遺産の普及啓発、郷土愛の醸成、また他の自治体の女人高野を知り、連携意識を高めるため、分かり易い学習冊子を作製する。		
具体的な指標:	日本遺産の認知度(児童)		
目標値:	令和 2 年度	4 %	⇒ 令和 8 年度 32 %

事業⑥：日本遺産認定横断幕、懸垂幕等の作製・設置			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 2 年度
補助金額：	令和2年度： 3,888千円	令和3年度：	令和4年度：
事業概要：	日本遺産の認知度アップ、地元の盛り上がりや来訪者が受ける印象を助長するため、横断幕・懸垂幕を作製し駅前に、幟を作製し商店街等に、またミニ幟を作製し公共施設等に設置する。		
具体的な指標：	日本遺産の認知度		
目標値：	令和 2 年度	5 %	⇒ 令和 8 年度 30 %
事業⑦： 女人高野巡礼スタンプ帳作製、ピンバッジ・缶バッジの作製			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
補助金額：	令和2年度：	令和3年度： 2,000千円	令和4年度：
事業概要：	日本遺産女人高野の普及啓発、女人高野巡礼に導くことを目的に、説明文を入れたごスタンプ帳を作製する。また衣類やバッグに気軽に取り付けられるピンバッジ等を作製する。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度	207 千人	⇒ 令和 8 年度 297 千人
事業⑧： 女人高野・女人道ハイキングの実施			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
補助金額：	令和2年度： 250千円	令和3年度： 250千円	令和4年度： 1,450千円
事業概要：	4自治体は自然に恵まれた、緑豊かなまちである。歴史的な道である女人道、町石道等においてコースを設定し、僧侶、学芸員などと歩くハイキングや女性限定のハイキングを実施する。		
具体的な指標：	その他（ハイキング参加者数）		
目標値：	令和 2 年度	515 人	⇒ 令和 8 年度 997 人
事業⑨： 女人高野に関する調査			
事業区分：	調査研究	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
補助金額：	令和2年度： 2,000千円	令和3年度： 4,000千円	令和4年度： 7,000千円
事業概要：	女人高野に関する調査は、学術的には未着手のテーマである。このことから詳らかにするためには歴史学、宗教学、観光学等の多角的な研究を要する。令和2年度から4年度前半にかけて調査研究を進め、後半に研究報告書の作成と報告会を開催する。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度	207 千人	⇒ 令和 8 年度 297 千人
事業⑩： 女人高野巡礼案内板の作製・設置			
事業区分：	情報コンテンツ作成事業	事業期間：	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
補助金額：	令和2年度：	令和3年度： 5,648千円	令和4年度：
事業概要：	女人高野の4ヶ寺巡礼が一目で分かる案内板を4ヶ寺等に作製、設置する。案内板にはマップと4ヶ寺の説明を掲載。また、多言語表示委託の中でQRコード（シール）（㊤）を作成し、貼付する。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度	207 千人	⇒ 令和 8 年度 297 千人

事業⑪： 女人道多言語案内板の作製・設置			
事業区分：	情報コンテンツ作成事業	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
補助金額：	令和2年度： 5,000千円	令和3年度： 5,000千円	令和4年度： 5,000千円
事業概要：	女人道は今も多くの訪日外国人が歩いているが、自然を楽しむとともに歴史的な理解促進につなげるため、多言語案内板を作製、設置する。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度 207 千人 ⇒ 令和 8 年度 297 千人		
事業⑫： 日本遺産認定チラシの作成・配布			
事業区分：	情報コンテンツ作成事業	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 2 年度
補助金額：	令和2年度： 400千円	令和3年度：	令和4年度：
事業概要：	日本遺産の認知度アップ、地元の盛り上がりを目的としてストーリー等を記載した認定チラシを作成し、各自治体各種イベント、公共施設等で配布する。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度 207 千人 ⇒ 令和 8 年度 297 千人		
事業⑬： 女人高野巡礼案内板多言語表示作成（QRコード）			
事業区分：	情報コンテンツ作成事業	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 2 年度
補助金額：	令和2年度： 400千円	令和3年度： 3,000千円	令和4年度：
事業概要：	近年、毎年右肩上がりです訪日外国人観光客が増え続けており、その受入れ整備として多言語による案内・説明を景観に配慮し、QRコードを活用して行う。		
具体的な指標：	外国人入込み数		
目標値：	令和 2 年度 113 千人 ⇒ 令和 8 年度 130 千人		
事業⑭： デジタルサイネージの放映			
事業区分：	情報コンテンツ作成事業	事業期間：	令和 3 年度 ~ 令和 4 年度
補助金額：	令和2年度：	令和3年度： 1,265千円	令和4年度： 2,200千円
事業概要：	女人高野の認知度を高め、令和3年度は京阪神地区から、令和4年度は人口の多い関東地区から観光客を呼び込むため、乗降客の多いターミナルで効果的な情報発信を行う。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度 207 千人 ⇒ 令和 8 年度 297 千人		
事業⑮： 女人高野パンフレット作成・NEXCO西日本サービスエリア配架			
事業区分：	情報コンテンツ作成事業	事業期間：	令和 3 年度 ~ 令和 3 年度
補助金額：	令和2年度：	令和3年度： 4,400千円	令和4年度：
事業概要：	日本遺産の認知度アップ、女人高野巡礼に導くことを目的に、京阪神地区からの観光客を呼び込むため、利用の多いNEXCO西日本サービスエリアで効果的な情報発信を行う。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度 207 千人 ⇒ 令和 8 年度 297 千人		
事業⑯： 映像資料作製			
事業区分：	情報コンテンツ作成事業	事業期間：	令和 4 年度 ~ 令和 4 年度
補助金額：	令和2年度：	令和3年度：	令和4年度： 5,000千円
事業概要：	旅行先選定のツールとして、ネットでの映像資料が効果的であるため、映像資料を作製し、4自治体のホームページから閲覧可能とする。またインバウンドを意識し、多言語版とする。		
具体的な指標：	その他（関連文化財への入込み数（室生寺、金剛寺、慈尊院、女人堂の拝観者数））		
目標値：	令和 2 年度 207 千人 ⇒ 令和 8 年度 297 千人		

## 様式4 (別紙③)

## (7) その他事業

事業①:	郷土歴史学習		
実施主体:	市・町内小中学校及び市・町教育委員会	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	各小中学校に学芸員が外向き授業を行うことで、地域の歴史や文化遺産について理解と関心を深め、歴史文化の継承・保護の一層の協力を得るとともに、郷土愛の醸成を図る。		
事業②:	子ども文化財解説		
実施主体:	市・町内小中学校及び市・町教育委員会	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	小学生が地域の歴史や文化遺産について学んだことを、観光地の寺院で来訪者に紙芝居、クイズ形式など工夫をこらし案内・説明する。従来、実施校が限定されていたものを順次増やしていく。		
事業③:	創業支援事業		
実施主体:	河内長野市商工会	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	創業希望者に対して、経営、財務、販路開拓などの支援経験が豊富な中小企業診断士による創業セミナーを開催する。		
事業④:	ウォーキングイベント		
実施主体:	西高野街道観光キャンペーン協議会	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	広域連携で西高野街道の観光魅力をPRし、ウォーキングイベントを開催する。		
事業⑤:	奥河内くろまろの郷を核とした体験型観光推進プロジェクト		
実施主体:	道の駅「奥河内くろまろの郷」指定管理者	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要:	道の駅を拠点とした体験観光プログラム充実によるツーリズム等を推進する。		
事業⑥:	市・町広報誌での普及啓発事業		
実施主体:	宇陀市・河内長野市・九度山町・高野町	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業概要:	シビックプライドやローカルアイデンティティの醸成を図るため、市・町広報誌で日本遺産に関連する文化財紹介の記事を連載する。		
事業⑦:	日本遺産認定記念文化財特別公開		
実施主体:	金剛寺・慈尊院・女人堂・室生寺	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業概要:	日本遺産認定を記念し、寺院の協力により秘仏の公開を含め従来の文化財特別公開の充実を図るとともに、ライトアップなどを行う。		
事業⑧:	金剛寺子院・無量寿院(国登録文化財)保存修理		
実施主体:	金剛寺	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 3 年度
事業概要:	後世への継承、活用を行うため、保存修理を行う。		
事業⑨:	河内長野市周遊観光支援事業		
実施主体:	河内長野市	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業概要:	河内長野市へのツアーを誘致し、交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。		
事業⑩:	仮題「女性とともに息づく女人高野」連続講座		
実施主体:	(公財)河内長野市文化振興財団	事業期間:	令和 2 年度 ~ 令和 4 年度
事業概要:	郷土の歴史を見直し、郷土愛の醸成を図るため、日本遺産のテーマに関連した連続講座を行う。		

事業⑪：	くどやま芸術祭事業		
実施主体：	九度山町まちなか活性化協議会	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	「町が丸ごと美術館」をテーマに、歴史と文化が融合する芸術イベントの開催により、交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。		
事業⑫：	外国人誘客促進事業		
実施主体：	九度山町まちなか活性化協議会	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	訪日外国人旅行者の誘客を図り、交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。		
事業⑬：	地域資源活用事業		
実施主体：	宇陀市・宇陀市あじさい祭実行委員会	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 年度
事業概要：	地域文化の継承や創造、地域資源を活かした新たな賑わいと活力を創出することで、交流人口の増加と地域経済の活性化を推進する。		
事業⑭：	女人高野ご朱印帳		
実施主体：	金剛寺・慈尊院・女人堂・室生寺	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 8 年度
事業概要：	4ヶ寺で統一した「女人高野ご朱印帳」を作製し、広域観光に資する。		
事業⑮：	高野山学		
実施主体：	高野山金剛峯寺・高野山大学・高野町・高野町教育委員会	事業期間：	令和 2 年度 ~ 令和 8 年度
事業概要：	継続実施している高野山の様々な文化や伝統、資産を学ぶ公開講座において、「女人高野」をテーマとした講義を開催することで知識を深め、「女人高野」の普及啓発に寄与する。		
事業⑯：			
実施主体：		事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：			
事業⑰：			
実施主体：		事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：			
事業⑱：			
実施主体：		事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：			
事業⑳：			
実施主体：		事業期間：	令和 年度 ~ 令和 年度
事業概要：			